

健康で…安全で…快適で… 住みたくなるまちへ工夫こらして

これからのまちづくり計画 後期基本計画案まとまる

いま新津市は、市民のみなさんが健康で快適に住めるまち、連帯と愛情がけようまちづくりを、一生懸命に進めています。いわゆる昭和四十八年から、向う十か年を目標準度とした「新津市総合開発計画」に基づいた都市づくりです。

この計画が実施に移されてから、今年度をもってちょうど目標年度の半ばに達します。途中、経済混乱などから一部事業の変更や修正が余儀なくされたものもありましたが、それでも懸念の計画はほぼ達成をみて、将来へ向けた「地がため」は着実に進んでいます。

引続く後期五か年の基本計画は、五十三年度からです。市では、基本構想の実現のため、今後実施する具体的な計画をたて、いま総合開発審議会にその素案の検討をお願いしているところです。

この後期の計画は、一昨年、市制施行二十五周年記念事業として制定された市民憲章や、市民のみなさんから募集した作文・論文、あるいは市民意識調査などを参考に、また前期計画での事業の見直しなども含め、いろいろな観点に立って素案づくりをしたものです。おつて、三月末までには審議会の答申を得て、新年度からスタートする手はずです。

今号は、この後期五か年の基本計画案の考え方と主な計画のあらましなどについて系統だててご紹介してみます。

人口と土地利用計画 基本に「施策」を展開

まず、後期五か年の基本計画をたてる基礎づくりは、人口と土地利用です。
○：新津市の将来人口、いわゆる五年後の五十七年における人口は、六万八千人と推計しています。これは、過去五か年間の人口の推移（別表）

〈新津市の人口の推移〉

48年	58,591人	対前年増
49	59,105	514人
50	59,866	761
51	60,717	851
52 (12月末)	61,435	718

〈市街化区域内可住地と可住人口の試算〉 52年12月

①土地改良区域	52ha	7,000人
②上記外（未整理地）	84ha	5,000人
③開発造成済であるが未建築	40ha	7,000人

計 176ha 19,000人

注 ②の84haの未開発地は主として秋葉・滝谷・草水・田家地区で、これを除いても92ha、14,000人分の可住地が試算されます。

よに「人口増加」の過大見込みをはかったとしても、水道の供給や下水道とか、学校・保育所・ゴミ・し尿処理、道路整備などを始めとするものろても都市施設が追い付かない、公害の発生をきたしたり、良好な生活環境を保持した都市建設はできません。それに、単に急速な人口増加をはかることが都市の発展とはいえないし、むしろ新津市のように、ゆるやかな人口増加率を示しているところが最も健全といわれます。このように、いろいろな観点に立って、新津市の五年後の将来人口が推計されています。

○：計画の基礎となるもう一つは、土地利用です。市内は市街化区域と市街化調整区域（大部分は農業振興地域に属しています）などに区域区分がされていますが、その基調を大きく変える要因は見あたりません。ちよつと別表の可住地とその人口試算を見てくださ。市街化区域の中での

お買物、ご用命は市内で

新津市代表二大銘菓 松坂踊り・新津松坂 新津菓子協同組合

2月24日・25日は天神様のお祭りです。

天神様和洋菓子大勉強！

天神様は勉強の神様です。良く勉強して良い子になりましょう。御婚礼・御葬儀の際は、お近づきの菓子店にお早めにご参下さい。如何様にも御相談、御説明申し上げます。協賛／新森・春雨・松本屋・金波・一楽・杵形屋



明日に備える 「動脈」や「公園」 (生活環境)

開発は、かなり進んでいるのがわかります。ここでの可住地（未開発または開発されはいますが未建築の状態）で今後住宅が建てられる余地は、約百ヘクタール近くで、二万四千人の人たちが住める分の余地が試算されますが、今後の開発状況を見ながら、少しずつ市街化区域を広げていく方針もたてています。

なお、後期五か年の基本計画は、これらの人口と土地利用計画を基本に、いろいろな施策の展開がはかれること

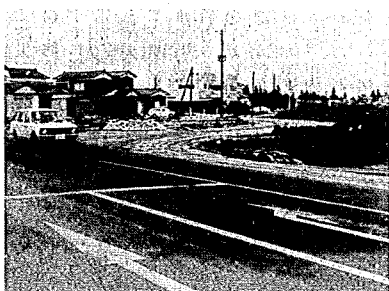
になっています。まず、その前提として、五年後の市民生活の環境基準も設定されていますが、おつてこれらのノウハウを紙上でご紹介いたします。

〈後期基本計画案〉 こんなことが計画 画されています

新津市総合開発計画は、健康で安全な明るい快適な都市づくりをめざし、高福祉と文教のまち——が大きな柱です。

この「構想」に基づいて五十三年度から進める「後期基本計画」は、いま総合開発審議会、市が計画した素案の検討・審議がなされています。

五か年の後期基本計画案の中から、主な事業計画などをいくつかひろってみました。（次のページから上段に続きます）

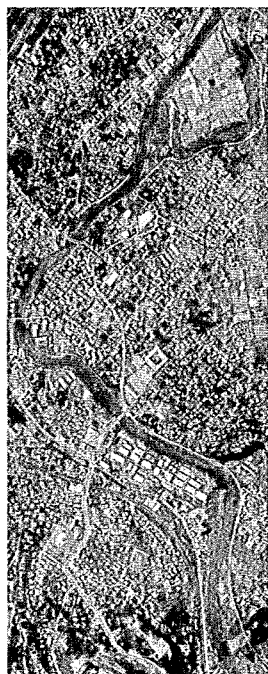


工事が進む県道新津—白根線へのバイパス接続地



吉岡町と新栄町を結ぶ市道の計画も

橋の建設を



能代分譲が完成するとさまざまな利用法が考えられている現川

お買物、ご用命は市内で

トイレの改造運動提唱中

水洗式・無臭式・5人用から100人用まで
工事は1日～2日で完了

新津市公設水道工事部

新津衛生工業(株)

新津市下興野町 ☎(4) 0176(代)

住宅 どんな御相談でもお気軽に

羽田建築

TEL 2 6163

新津市金沢町2丁目

設計、施工、監理